

商品の売上・仕入

(1) 商品の仕入れ

① 仕入れとは？

「仕入」とは、店頭にならべて売るための商品を購入する行為のことです。費用項目なので、増加（購入）は借方です。

② 仕入の仕訳

(例題1) 商品 1,000 円を仕入れ、現金 1,000 円を支払った。

仕訳 (借) 仕入 1,000 (貸) 現金 1,000

(例題2) 商品を 1,000 円仕入れ、代金は来月払いの掛とした。

仕訳 (借) 仕入 1,000 (貸) 買掛金 1,000

(解説) 掛とは、例えば、毎日八百屋さんが市場に野菜を仕入れに行くとなります。毎日何千円分かの仕入代金を市場に現金持参で行っても良いのですが、八百屋さんも市場の人も毎日会うので顔見知りになるので、お互いに信頼関係が出来てきて手間を省きたくなります。そこで、支払いは1ヶ月分まとめて支払う方法にしたりします。この代金後払いのことを買掛金と言います。

(例題3) 上記例題2の掛代金の支払い期日がきたので、小切手を振り出した。

仕訳 (借) 買掛金 1,000 (貸) 当座預金 1,000

(2) 仕入戻し・仕入値引

① 仕入戻し・仕入値引とは？

八百屋さんが市場から野菜を仕入れました。しかし、一部の野菜で傷みが見つ

かりました。八百屋さんが市場に電話をしてこのことを告げると次のいずれかを選んでくれと言われました。

(その1) その野菜を返品してくれれば代金を返します。

(その2) 返品しなくても良いからその分代金を値引きします。

その1を仕入戻しと言い、その2を仕入れ値引きと言います。

② 仕入戻し・値引の仕訳

(例題1) 掛で仕入れていた商品 1,000 円が破損していたため、返品した。

仕訳 (借) 買掛金 1,000 (貸) 仕入 1,000

(例題2) 掛で仕入れていた商品が傷んでいたため、300 円の値引きを受けた。

仕訳 (借) 買掛金 300 (貸) 仕入 300

(3) 仕入れに掛かる諸費用

① 仕入に掛かる諸費用とは？

商品を電話で仕入れ、商品を発送してもらう場合にその運賃や保険料(仕入諸掛)が発生します。この仕入諸掛を買い手が負担するのか売り手が負担するのかで仕訳の処理が変わります。

② 仕入諸掛の仕訳

(例題1) 商品 500 円を掛で仕入れ、運賃 200 円は現金で支払った。

仕訳 (借) 仕入 700 (貸) 買掛金 500
(貸) 現金 200

(解説) 運賃は仕入れをするために必要不可欠な費用だったので、仕入勘定に含めて処理します。

(例題2) 商品 500 円を掛で仕入れ、運賃 200 円(先方負担)は現金で支払った。

仕訳 (借) 仕入 500 (貸) 買掛金 500

(借) 立替金 200 (貸) 当座預金 200

(解説) 運賃は先方が負担というケースもあります。その時は、運賃 200 円は先方に請求できるので「立替金」(資産) 勘定で処理しておきます。

(4) 手付金を先に支払って仕入れをしたとき

① 前払金とは？

高額な商品、例えば 100 万円の商品を仕入れるときに先方から前金として 30%を先に支払ってくださいという取引が起こることがあります。

この場合の前払い分は「前払金」(資産) で処理します。

② 前払金の仕訳

(例題 1) 商品 100,000 円の仕入れの手付金としてその 30%を先に普通預金から振込した。

仕訳 (借) 前払金 30,000 (貸) 普通預金 30,000

(例題 2) 上記の商品が到着し、残金は月末払いとした。

仕訳 (借) 仕入 100,000 (貸) 前払金 30,000
(貸) 買掛金 70,000

(5) 商品の売上げ

① 商品の売上とは？

洋服屋さんが洋服を販売したり、レストランがステーキを焼いたりする、いわゆる本業の収益を、「売上」勘定で処理します。基本的な考えは、仕入れの相手側が売上げなので、仕入れの処理の逆のイメージで下記の仕訳に取り組んでみてください。

② 売上の仕訳

(例題 1) 商品 10,000 円を販売したが、代金は来月振込の掛とした。

仕訳 (借) 売掛金 10,000 (貸) 売上 10,000

(説明) 仕入れ代金の後払いを買掛金として処理するというのはすでにご説明していますが、本問はその相手方(売主)なので、「**売掛金**」という勘定科目で後日入金の特権を表します。

(例題2) 本日上記売掛金 10,000 円を小切手で受け取った。

仕訳 (借) 現金 10,000 (貸) 売掛金 10,000

(例題3) 先日販売した野菜の中に一部傷んでいるものがあつたので、掛代金の一部 400 円を値引きした。

仕訳 (借) 売上 400 (貸) 売掛金 400

(例題4) 先日販売した商品に欠陥があつたので、代金 10,000 円全額小切手で返金して、商品の返品をお願いした。

仕訳 (借) 売上 10,000 (貸) 当座預金 10,000

(例題5) 商品 5,000 円を掛で売り上げ、発送運賃 500 円(購入者負担)を現金で支払った。なお、この運賃は売上代金に含めて請求した。

仕訳 (借) 売掛金 5,500 (貸) 売上 5,000

(貸) 現金 500

(例題6) 商品 5,000 円を掛で売り上げ、発送運賃 500 円(当店負担)を現金で支払った。

仕訳 (借) 売掛金 5,000 (貸) 売上 5,000

(借) 発送費 500 (貸) 現金 500

(例題7) 商品代金 100,000 円の手付金として 30,000 円を小切手で受取り、ただちに当座預金に入れた。

仕訳 (借) 当座預金 30,000 (貸) 前受金 30,000

(解説) 仕入れの項目でご説明した手付金である前払金の相手側(売上側)の勘定科目は「前受金」(負債)を使用します。

(例題8) 上記商品を売り上げ、先に受け取っていた手付金を差し引いた残額は掛とした。

仕訳 (借) 前受金 30,000 (貸) 売上 100,000
 (借) 売掛金 70,000